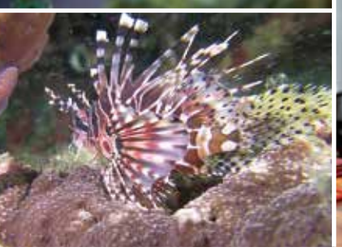

竹内 修一（しゅういち）さん
（水中カメラマン）

WAZA!!! 技

潜水士として全国の海に

体長1センチほどのウミウシが、波にもまれながら岩肌で触覚を揺らしている。白っぽい体に、紫色の線が不規則に走っている様子も鮮明に分かる。

水中カメラマンの竹内修一さんは、小さな命を画面いっぱい、ダイナミックな映像で捉える。「正面向いてこっちに動いてきゆうみたいな。そういう動画は見る人も楽しいよね」と話す。

水中の小さな生き物を撮影するには、海流の中で体をぴたっと固定する高度な技術が必要だ。一瞬を切り取る写真よりも「動画の方が難しい」という。竹内さんは、国家資格の「潜水士」として全国各地の海に潜り、さまざまな海中作業を担ってきた経歴を持つ。

家業の塗装業に励みつつ、マリンスポーツ好きが高じて30歳を過ぎてから潜水士になった。主な仕事は海中の土木工事。テトラポッド（消波ブロック）の設置や撤去、港の岸壁工事、海底ケーブルの敷設など。県外の潜水会社から仕事を請け負い、全国を飛び回った。

海の中は、浮いているような、まるで無重力の世界。「陸上では経験できんことができて、いろんな現場にも行けて。面白かったね」。

水の濁りで50センチ先も見えない作業や、水深30メートルでタンク内の空気が少なくなった瞬間もあった。潜る前に緊張することはあっても、「飛び込んでしもうたら人間が変わる。もう全然平気。プロとして冷静に仕事ができた」と振り返る。

中古の水中ビデオカメラを譲ってもらったことを機に、40代で動画撮影を始める。潜水作業の技術を生かし、ウエイト（重り）を調整して海中で体を安定させ、サンゴ礁などを映像に収めた。当時はテレビ局から水中撮影を依頼されることも多かったという。

海の厳しさを知り、海と共に生きて30年以上。現在は潜水士の仕事からは引退し、七里の自宅で「四万十ペンキ」を営む傍ら、趣味で水中撮影を楽しむ。「別に珍しい魚じゃなくて、普通の魚を少しでもきれいに撮れたらいいかな」と穏やかに話す。

町にはこんな waza も　未来の waza!!

姉妹で平泳ぎ選手！ 岡村 明音（あかね）さん 窪川高校2年、夏奈（かな）さん 窪川小学校6年

窪川スイミングクラブで練習に励む姉妹は、どちらも平泳ぎで県内上位の実力。「ストローク（腕の動き）は妹の方が上手で、参考にしてます」「（お姉ちゃんは）長距離も速くて憧れです」とお互いに切磋琢磨する日々だ。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちょいwaza!!は随時募集中！▶

窪川高校の魅力を発信！

三年坂 information

各クラスの広報委員が記事を書きました！

レイアウト：生徒会広報委員長
小野川 果歩

入学してからの生活　1－1 藤澤桜太

僕達新入生は、窪川高校に入学して3ヶ月以上経ちました。はじめは不安もありましたが、優しい先輩たちや先生たちのおかげで、今では楽しい学校生活を送れるようになりました。

ウェルカムスポーツフェスティバル（体育祭）では、2・3年生の先輩たちと協力してたくさんの競技をしました。3年生は最後の体育祭で、1年生は高校生活はじめての体育祭だったので、お互いすごくいい思い出になったと思います。これからの学校行事も先輩方とたくさんの思い出を作っていきたいと思います。

生徒総会　3－1 前田凌成

6月18日（火）に高校生活最後の生徒総会が開催されました。1・2年生の新しい生徒会と議長の3年生川上君と武田さんで進行され、様々な意見が出されました。

議題は、新しく導入された生活服のポロシャツに黒色を許可してほしい、廊下の壁が白くつくので塗り直してほしいなど、1年生から3年生までたくさんの意見が出されました。意見が通る場合もあれば通らない場合もあると思いますが、このような生徒総会の場でたくさんの意見を出して、窪川高校を今よりも良くしてほしいです。新しい生徒会の皆さんは、運営もスムーズに進めることができていて、これからの学校生活を更に良いものにしてくれると思います。

ふれあい茶摘み体験　2－1 山田悠翔

私達2年生は5月8日（水）にふれあい茶摘み体験を窪川小学校の皆さんと行いました。窪川小学校出身の生徒以外は初めての茶摘みでしたので、始まる前は年の離れた小学生とうまくコミュニケーションが取れるか不安がありましたが、終わってみると皆「楽しかった」「小学生が可愛かった」など、小学生とのふれあいを楽しみながら茶摘みができた会話がほとんどでした。

私自身も茶摘みは初めてでしたが、小学生と交流しながらの茶摘み体験は、とても楽しいひとときになりました。これからもこのような行事を続けてほしいです。

3年生地域課題研究　3－2 坂本蓮大

私達3年生は地域課題研究の時間で四万十町の課題について考え、取り組みたい課題を深堀りしていき、同じ課題について数人でグループになって解決に向けて考えています。グループは大きく分けてPR、イベント、意識調査・提案、自然×観光、食品ロス、地元食材、防災、歴史×観光に分かれています。

私は自然×観光のグループで耕作放棄地の問題について考え、その対策や情報集めをしています。私が調べていく中で四万十町の人口は年々減少しており、それに伴って出てきた問題もありました。私はこの活動を通して地域の課題について学んでいきたいと考えています。

じゅうく。

地域で挑戦する、高校生たち

「じゅうく。」には、授業がない日でもたくさんの生徒が来ています。
学校の課題を進める / 進路の相談をする / スタッフと雑談をするなど、使い方はさまざまです。
ここで体験する全てのことが、生徒たちにとっての良き思い出になればと思っています。

【お問い合わせ先】 町営塾「じゅうく。」 ☎050-5482-3339
人材育成推進センター ☎22-3163